

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年8月29日

事業所名 児童発達支援 放課後等デイサービス ほっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・利用児が多い時は、1, 2階に分けて療育を行う。	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	・建物の構造上バリアフリーは難しいが、安全面は配慮している。 ・段差がある所があるので、台やスロープを置くようにすると良いのでは？	・今後、適宜必要な際には、台やスロープの設置も検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		・月1回の定例会議、代表との面談、毎週の常勤職員会議あり。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	・評価表は今回初めての実施となるが、日頃から連絡帳、LINEを通じ意向を伺う。 ・開業して今回が初めての実施、実施後、始めていく。 ・保護者の意向に沿えるところや改善できるところを見直す。	・開業後今回が初めての実施。貴重なご意見として、真摯に受け止め、取り入れられるところから、順に改善を進めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	・第三者の外部評価は、新しい気付きにもなると思う。 ・第三者委員会は設けていないが、外部コンサルタントや同業他社様と意見交換、助言をいただいている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・児発管研修、他事業所の見学など。 ・Webの利用等。 ・リタリコの研修動画を見たり、他事業所主催の外部研修に参加。内容、感想等を職員間で共有している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	・把握できていないため、確認し使用していきたい。	・今後リタリコのアセスメントツールをより活用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・大まかな立案は職員会議で行い、それを元に常勤職員、常勤会議で相談している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・各職員それぞれ、SNS、リタリコ、インターネット、書籍等から学び、ヒントを得て、新たな活動プログラムを展開するよう努めている。 ・毎月の製作、季節毎のイベントなど工夫している。 ・季節で楽しめる活動を取り入れていく。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学力相応の課題を準備している。</li> <li>・その時にできること、利用児、個々のできることを考え設定している。</li> <li>・長期休暇はマンネリにならないように色々なことが出来るように設定している。</li> </ul>	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別/集団で活動ができるように時間を作っている。</li> </ul>	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の送迎前にその日1日の流れの確認をしている。</li> </ul>	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り、気付いた点を口頭やメモで職員に知らせている。</li> <li>・支援後振り返りを行い、重要なことは全職員に伝達するようにしている。</li> <li>・子どもの様子、良かった点・悪かった点を話し共有し、次回の療育へ繋げていくようにしている。</li> </ul>	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録など他職員がしているので行っていないが、気付いたことは報告するようにする。</li> <li>・全利用者の支援を漏れなく必ず記録できるシステムを利用し、支援にあたらなかった職員も閲覧、共有できるように整備している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録方法、共有方法を見直し、より良い方法を模索していく。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供を基本活動とし、支援を行っている。</li> </ul>		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		・学校の情報は保護者から共有してもらっている。 ・必要な場合は学校とも連絡を取る。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		・現在、児童発達支援の頃から当事業所を利用している児童が多く、継続的な支援が可能。保育園や他事業所等とも情報交換、相談を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3	・現在該当児なし ・まだ卒業生がいないが、今後はそのような場合、情報共有をしていく。 ・現段階で対象児はいないが、その時はしっかりと情報共有し、継続的に支援が行われるように努めていく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	・おぞら児童園さん主催の研修に参加している。 ・サービス担当者会議で利用者の情報交換を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		・公園や児童館等公共の場へ外出し、関わりを持てる機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3		・自立支援協議会、会議等を把握できていないため、地域の相談支援センターとの連携を深めたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・連絡帳でのやり取りや、送迎時に直接話し合ったりしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	・個別の対応は行っているが、今後保護者学習会や通信など、支援を広げていくのも必要だと感じる。	・今後、家族様向け研修の開催など検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・契約時に説明し、了承を得ている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・相談に際し出来る限りの対応をしている。 ・その都度、相談に応じ、今後の支援等について職員で話し合い共有している。 ・送迎時、電話、LINE等で日々お話を聞き、必要な場合、面談時間を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		・親子参加の企画立案を実施(お菓子作り体験)	・第一回が近日主催予定だが、その他の企画立案も継続的に行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・活動や行事予定などはLINEやおたよりで知らせている。	

35	個人情報に十分注意している	7	・個人情報の書類は、鍵付き書庫にしまっている。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	・連絡帳、LINE、電話でのやり取りを密に行っている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	4	3 ・地域交流の機会の提供として、高校生ボランティアを受け入れている。 ・近所の方と連絡を取ったり、おすそ分けを戴き、子どもたちとお礼をする等している。 ・今後計画していきたいと思う。	・今後、秋祭り等、地域の方との交流、理解を深めて頂ける場づくりを検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	・今後取り組む予定。 ・今後全職員に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	5	・今後定期的に訓練を行う予定。 ・現在数回の実施のみ。9月より定期的な避難訓練計画を立案。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・研修動画を見て、意識の向上を図っている。 ・県が実施する虐待防止研修を管理者が受講予定。その後、全職員へ共有、研修の機会を設ける。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	・今のところ身体拘束を行う必要のある児童該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	・アレルギー対応が必要かどうか契約時にヒアリング、記入して頂いている。 ・現在該当者はいないが、今後該当者がいたら職員間で共有して対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	5	・ヒヤリハットの事例は口頭やLINEにて共有している。 ・その日に起きた事例は職員で共有している。 ・その都度話し合いはしているが、書面で残すようにしていきたい。